

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	生涯スポーツ演習B		
英文授業科目名	Lifelong Learning in Sports B		
開講年度	2009年度	開講年次	2年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	総合文化科目-健康・スポーツ科学科目-		
開講学科・専攻	電子工学科 量子・物質工学科		
担当教官名	石原 明美、森井 大治、森脇 保彦		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
kikkawa@mce.uec.ac.jp	

<p>【主題および達成目標】</p> <p>(a)：主題 本演習は「健康・体力づくり実習」において学んだことをさらに発展させるプログラムである。スポーツは、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成や個々人の心身の健全な発達に不可欠なものであり、生涯にわたってスポーツに親しむことは極めて大きな意味をもつ。特に学生時代は社会人へと移行する時期でもあり、スポーツライフの定着には絶好の機会である。 本学の教育方針においては、幅広く深い教養と人間性の涵養をねらいとしており、本演習では、スポーツに親しむ能力を身につけると同時に、こうした経験を通して理解したことや自身の意図などを他者に伝える論理的コミュニケーション能力の習得を目的とする。 これらのためには、スポーツに親しむための知識や技能を獲得することが極めて重要である。人間の動きに対する理解を深めるためには他者との身体的ならびに言語的なやり取りが求められるが、こうした経験を通じてスポーツに対する関心を喚起し、生涯スポーツを自主的に構築することをねらいとする。</p> <p>(b)：達成目標 各種のスポーツ技能・身体操作技能の習得や理論、ルール、マナーの理解等を深めることによって、自らスポーツ環境を整え、企画運営することのできるような生涯スポーツの基礎を培うこと、また、スポーツ種目の実践を通じて、他者との円滑なコミュニケーションを図ることができるようになることを目指す。</p>

<p>【前もって履修しておくべき科目】</p> <p>健康・体力づくり実習</p>
--

<p>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</p> <p>健康論</p>
--

電気通信大学 平成21年度シラバス

【教科書等】

なし

【授業内容とその進め方】

授業は主として、西地区体育施設にて行なう。通常の時間割（後期）の中で行うコースであり、技能や知識を発展させ、生涯スポーツの基盤を確立する（硬式テニス〔森井〕，柔道〔森脇〕，バスケットボール〔石原〕）。

【授業時間外の学習（予習・復習等）】

- (1) ルールや各種目のスキルなどに関する知識について、関連文献やwebなどを通して学習する。
- (2) 選択した種目や関心のあるスポーツの観戦・視聴などをして、モチベーションを高める。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a)：評価方法

授業への参加状況（50%），スポーツ・運動への取り組み（20%），生涯スポーツのための知識の獲得（レポートを含む）（20%），他者とのコミュニケーションへの取り組み（10%）とし、総合的に評価する。本演習は、実技をともなうことから授業への出席が重視される。したがって、健康や体調に留意し、全出席することを期待する。病気などやむを得ない欠席の場合、出席点（50点満点）より欠席1回につき 3点、遅刻、見学は 1点として 10点までを評価対象とする。また、レポートを提出しなかった者は評価の対象としない。

(b)：評価基準

以下の到達レベルをもって合格の最低基準とする。

- ・身体運動について理解したことを身体的・言語的に表現することができる。
- ・スポーツのルールやマナーなどについて理解し、自らスポーツ環境を整え実践することができる。
- ・他者とうまく関わってスポーツや運動を楽しく安全に実践することができる。

【オフィスアワー：授業相談】

健康・スポーツ科学部会事務室（東1-402）に連絡のこと。

【学生へのメッセージ】

演習A-Dのいずれか1単位が必修である。また、各演習の単位はそれぞれ1単位で、最高4単位まで認められる（必修の1単位以外は共通単位となる）。健康や体調に留意して、積極的な参加を期待している。初回のオリエンテーションも評価対象となるので必ず出席すること。

電気通信大学 平成21年度シラバス

【その他】
なし